

会議の名称	議会改革特別委員会	開催月日・令和5年1月23日 開会時間・午前・午後 9時59分 閉会時間・午前・午後10時45分
出席者	野口 佳宏 糟谷 玲子 柴田 喜朗 安井 智子 花村 隆 星野 明	
欠席者		
オブザーバー	議長 南谷 佳寛 副議長 後藤 國弘	
傍聴者		
説明のために出席した者	堀議会事務局長 藤井議会総務課長、大下議会総務課課長補佐、中村同課主任	
協議事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 委員会活動の活性化について ○ 一般質問のあり方について ○ タブレット端末の実証利用の振り返りについて ○ その他 	

【開会=午前9時59分】

野口委員長

ただいまから議会改革特別委員会を開会します。本日の協議事項は4項目となります。

はじめに、委員会活動の活性化について協議したいと思います。前回までの協議におきまして、常任委員会委員の任期を2年にしてはどうかとの方向づけをしていただきましたが、2年の任期における活動の在り方について協議したいと思います。お手元には公開されております他議会の委員会活動計画書をお配りしております。委員会構成の決定後、所管事項や活動内容、スケジュールを整理することで活動への意識づけを委員のみならず全議員で共有でき、わかりやすさ、見える化も図られるのではないかと考えられますが、ご意見などございましたらご発言の方お願いいたします。

糟谷委員

今見たばかりでちょっとわからないんですけど、内容についてわかる方ちょっと説明していただけるとありがたいんですけど。

議会総務課課長
補佐

今日お配りさせていただいたのは、登別市議会が公開しておりました委員会活動の計画書になります。こちら、A4の横書きでまとめてありますのが、まず委員会が所管する項目を列記しまして、委員会の活動方針、調査研究事項、重点活動テーマを列記しております。下半分のところが委員会活動のスケジュールということ載せております。委員会活動の活動計画を作っていく中で、どういう方針をもってどんな調査あるいは研究を委員会で進められるか重点的に委員会としてこんな活動をしていきたいと思いますこととお考えいただきながら年間スケジュールとして、どの時期にそのような調査を進めていくか、行政視察を含めてどの時期にどんな活動をして、最終的に取りまとめられるかというようなこととお考えいただいているものを整理したシートであると考えられます。以上です。

野口委員長

ありがとうございます。各委員会で政策とか諸課題とかいろいろ具現化して、どうやって対応していくかというものを示したものだと思いますが、こういうのがあるとスケジュールに沿ってやっていくということができると、委員会の運営としては便利なものになるのではないかと考えています。

糟谷委員	<p>登別の総務教育委員会の活動計画書の後ろの議会運営委員会の活動計画書も登別の方で作成しているものですか。これは1年しか書いていないんですけど。</p>
議会総務課課長補佐	<p>議会運営委員会のところも同じく登別市議会が作成、公開しているものになります。一応常任委員会と議会運営委員会は別物といいますか、どういう作り方をするのかという部分で違いが出てくるという比較として並べさせていただいております。こちらが1年間の活動ということでまとめてありますので、仮に2年間としたときに2年全体でというアレンジの仕方を適宜できるのではないかと考えています。</p>
糟谷委員	<p>すごく登別細かく計画が作ってあるんですけど、ちょっと勉強不足で、他市町ほかにもどのようなかたちでやってみえるかもっと勉強しなくちゃいけないなと思ったんですけど、ここまで細かくやってみえることはとてもすごいことだと思います。すぐに羽島市がここまでできるかというのがちょっと心配なところですよ。以上です。</p>
野口委員長	<p>他のところも見ながらというか、調べながらということで大丈夫ですか。</p>
議会総務課課長補佐	<p>今日これをもってということ私どもで申し上げるわけではなく、協議のひとつの題材といいますか、そういうものとして見ていただければ、活動の活性化というところの協議の取り掛かりということでお願いしたいと思います。</p>
糟谷委員	<p>別に今日決定というのではなくて、もっと勉強してということ。</p>
野口委員長	<p>議会改革とかでホームページ見ていただくとひょっとしたら出てくるかもしれないので、また探していただいて、委員会活動の活性化の一助としてという感じでとらえていただければと思いますので、今日決定とかではないので、また持ち帰っていただいて、こうした方がいいああした方がいい、別にこういうのはなくていいとか、いろいろご意見出てくると思いますので、各自でお調べをまずいただきたいなということでよろしいですか。</p>

花村委員	委員長が最初に言われた、任期を2年にすることについての議会改革特別委員会の意向についてははっきりさせた方がいいのかなという気がしますけど。
野口委員長	議会改革特別委員会としては、常任委員会は任期を2年でという、これは決定しているので、2年という話とプラスアルファでこういうのも活用して活性化していったらどうですかという議論なので。
花村委員	了解しました。
柴田委員	これは登別ということで、令和4年度分なんですけど、ここは2年任期というかたちですか。今後羽島市議会で常任委員会2年任期でやっていくかたちになったときに、社会状況の変化が大きいかなと、特に今の段階で思ったので、2年任期ではあるけど、単年ごとに重要とするテーマを更新していくべきかなと、それぞれの議員の方の問題意識というのも変わってくる可能性があるんで、そのようなかたちが理想かなと思いました。
議会総務課課長 補佐	登別市議会の委員会は条例上2年、議会運営委員会も含めて2年ということになっております。
野口委員長	他の議会のことも委員の皆さんお調べいただいて、また次のときに意見を出し合いましょう。先日議会運営委員会がありまして、そのときに議会改革特別委員会で常任委員会の任期を2年にする議論があって、議会改革特別委員会としての方針が決まったので報告して、そこで意見があったんですけど、まずひとつは、今年の4月に選挙があって、改選期を迎えると、それで新しい人に決めてもらえばいいんじゃないかという意見がひとつと、もうひとつが常任委員会だけ2年なんですかと、正副議長が1年で交代して、議運も1年で交代して、常任委員会だけ2年でということなんですかということで、そういうご意見がありました。議運は議運で引き続き協議ということになるんですけど、一応ご報告ということで、皆さんにお聞きしたいんですけど、議運は1年で常任委員会の任期を2年でということをご説明させていただいたんですけど、なんで議運は1年なのかというご意見があった。
柴田委員	なぜ常任委員会が2年で議運が1年でというところですか

けれど、基本的に常任委員会は登別の方もそうですけど、調査研究をしたうえで提言をするという、そういったかたちの中で2年にしようという話の前提として、ちゃんとした調査研究は2年くらいのスパンがないと、1年ごとではあまりできないんじゃないかという話だったと思うんです。ただ、議会運営委員会に関しては、調査研究をするかといったら、そういったことは議会運営委員会ではありえないと思うんです。なので、議会運営委員会は1年でという話ではないかなというふうに思います。

野口委員長

そのように説明はしたんですけど、議運は議運で協議が続いているので、また何かしらお話があると思いますが、随時ご報告はさせていただきますのでよろしく願いいたします。

続きまして、一般質問のあり方について協議してまいります。通告書の提出に関しての協議が加わりましたので、整理をしたいと思いますが、去年の全協でしたか、通告書に関するご意見というか、ご発言が全協であって、この通告書について皆さんのご意見をお伺いしたいんですけど、どうしても通告書にない質問をされて、関連質問だからいいだろうというお話があるわけで、そのあたりご意見をいただきたいと思います。一般質問の通告書についてご意見というか、何でもいいです。

花村委員

現状でいいのではないかというのが私のまず一番の認識で、あまり厳しくというか、これ以上細かく決めると我々もしっかりした議論ができなくなるおそれがありますので、現状でいいのではないかと、言ってしまうと、通告にないから聞いてはいけないとか、そういうことまで言い出すと、市民の目から見て出来レースではないかと、書いてあることを読んでいただけじゃないかというようにも見かねられないので、その辺は真剣に議論をする場として本会議がある、そういった運営も必要ですから、現状でいいのではないかというふうに思います。

柴田委員

私は前段階で職員の方との打ち合わせがあると思うんですけど、そこが弱すぎるのではないかなということを思うんです。確かに出来レース的なところは否めないところはもちろんありますし、途中で質問を変えたいというのはあるんですけど、やはり答えていただく以上、むこうも用意しないといけない、こっちもそれなりのものを持っていか

ないといけないというところを考えると、ちゃんとした議会というか、正常な運営ということ考えたときに、関連じゃないか、関連だからいいじゃないかと言っても、議論の的となっているところがどこかへ行ってしまふ、話がずれてしまふというのは、正直聞いていても、この人何が言いたいんだろうというところになってしまう可能性があるもので、やはり着地点をしっかりといただきたいのもあるし、やはり打ち合わせを、正直言うと、通告書出してから打ち合わせする方もいらっしゃるということは聞き及んでいるんですけど、それ自体どうなのかなというふうに思うので、変えていかないといけないところではないかなと思います。

糟谷委員

何回も皆さんと協議して、いつもいろいろな意見出るんですけど、今までこういうことは申し訳ないけどなかったんですよ、今までは。今議会でこういうことが頻繁に起こって、頻繁に起こる人も決まっています、限られていて、その方たちに私が議長の時にはきちんと打ち合わせができないなら、議長の前でお互いにやってくださいと、そういう話をしたんですけど、一人もそういう方はいなくてずる来てしまっているんですね。だから、全員が通告通りやっていないということではなくて、やってみえるし、さっき花村委員が言われたみたいに、答弁に対してまた質問するという自由な、お互い発信するような一般質問ができなくなってくる、書いてある紙だけしかダメというような、そんな議会はちっとも良くないというふうに思うんです。ですから、本当に申し訳ないんですけど、一部の方、その方たちに注意をすることが必要であって、議会全体を変える必要はないというふうには私は思います。

安井委員

前回もそういうことがあったときに、一般質問の通告書に対して、簡単に、大まかに書くだけではなくて、丁寧に書いてくださいというふうに決められたと思うんです。だから、その中で話をしていただけるというにしていく方向にしないといけないと思うし、先ほど糟谷委員がおっしゃられたように、毎回これに関連したことと本人は思っているんですけど、全体的に見て全然違うというふうなところも、その方たちにお話ししていただく必要があるのかなというふうに思います。

星野委員

今まででいいんですけど、関連質問だったらその場で考

えることもあるので、市の答えを聞いて。打ち合わせしていても答えまで教えてくれないので、その場で聞くだけなので、その場で考えてやるという、昔はよくその場でいろいろな関連質問で自由でよくて、最近になったら細かく打ち合わせやれとかどうのこうのやっているけど、現実にそういうことは難しいので、答えはわからないので、それに対してどんどん自分で進めていっていただけであって、答えがわかればそれができるかもわからんけど、できない場合もあるので、自由にやらせて、いかんときはいかんと議長が止めるか注意すればいいので、今までたくさん聞いてきたけど、常に書いてないやつはいかんとか、市役所の方も答弁できないものは次の時に答弁しますとかはっきり言えばいい。そうすれば出来レースではないので、今だと質問することに対して答えがわかって、それで質問して答えがわかってで、聞いている人も何をやっているかというところと花村委員言われたみたいになってしまうので、多少ずれても、それぞれの時にきちっとずれてますよとということによって上から議長が注意すればいいんじゃないですか。現状のままで。

野口委員長

議会改革特別委員会としては現状のままでいって、糟谷委員言われたみたいに、一部の議員さんだから、しっかり指導をしていくと、糟谷委員が議長の時に私副議長だったんですけど、確かに当事者というか議員さんにはお話をされましたけど、一切結局そういうことをしなかったんですよ。レクというか、協議の時にそういうこともなかったの、個々の議員に対して指導しながらやっていくと、全体的には現状のままでいくということによろしいですか。

糟谷委員

通告を言った、言わないとよく言われるじゃないですか、市役所側と議員側で、もしもそういうことに発展したときは両者を呼んで、議長がきちっと精査していくということをこれからやっていってもいいんじゃないかなと思います。

南谷佳寛議長

確かに糟谷委員の言われるとおりだと思うんですけど、ほとんどの人は正確に、皆さんの決めたとおりに一般質問を行われていますけど、一部の方だけが守っていただけないので、私も大変苦労していますので、糟谷委員の意見に賛成です。

後藤副議長	<p>議会自体は議長が仕切るものであって、議員は議長に必ず従っていただきたいと思います。議長に従わずにやるとこういうルールを決めないといけないことになるので、議長が静粛にしてくださいと言ったら静粛にするとか、その質問はやめてくださいと言ったらやめていただくと、こういうかたちをきちっと議員の皆さんが持っていたらこういうルールを決めなくてもいいと思いますし、議長の言うことは必ずきいていただきたいと思います。</p>
柴田委員	<p>ちょっとずれるんですけど、個人的な意見ですけど、野次をやめていただきたい。</p>
野口委員長	<p>議長の指導というか、注意というか、それをきくのは当たり前ですからね、野次の注意も含めて。 一般質問の通告書等々の在り方については、現状維持でいくと、何か問題等々があったらしっかりと議長の指導で対応していくということによいですか。</p>
花村委員	<p>一般質問と代表質問はよかったですか。決着ついてましたか。</p>
野口委員長	<p>結局そのまま、今まで通りです。 次に、外部との連携について協議をしたいと思います。お手元には外部、これは大学になりますが、との連携について若干整理をさせていただきたい、ペーパーをお配りしております。こちらは今日初めてご覧になられると思いますので、読んでいただいて、ご意見があったら挙手でお願いします。</p>
議会総務課課長 補佐	<p>連携の在り方というのをここで協議する題材といいますか、という中で取りまとめたいただいておりますので、その内容といいますか、どういうところの連携をというのの参考で他市の例を挙げてみました。一番下には市の執行部が現在連携をしているところが3カ所ありますが、それについて参考にさせていただいております。よろしく申し上げます。</p>
野口委員長	<p>ちょっとご覧いただいて、ご意見があれば挙手でお願いいたします。</p>
糟谷委員	<p>ここに大学との連携が書いてございますが、それぞれ個</p>

柴田委員	<p>人的なつながりのある教授とか、政治関係の専門の方とか、そういう方と連携してみえる議会もありますので、別に大学との協定ばかりを考えなくてもいいんじゃないかなというふうに思います。皆さんどこかでつながりのある、いいよという方がみえれば、ぜひそういう方ともどんどんしていけばいいと思いますので、よろしくをお願いします。</p> <p>他市のをみると、議会と大学がというところと、執行部と大学という違いが大きいと思うので、やはり羽島としても、執行部もやっていただいているんですけど、議会としても大学との協定を結んで教えていただいたりできたらいいと思います。</p>
野口委員長	<p>どこかとはつながりを持ったほうがいいと思うんですよ。もちろん大学でもいいし大学じゃなくてもいいし、やはり外部の指導というところとあれですけど、話を聞いたりとかして、活性化につながっていけばとは思っているので、みなさんどうでしょうか。私は非常に重要なことだと思っていて、先ほど申し上げましたけど、大学とか他の団体何でもいいんですけど、別に1本だけじゃなくてもいいと思うんですよ。大学もいいし、団体は団体で話を聞くのもありだろうし。</p>
糟谷委員	<p>高山市の方がこういう勉強をされてみえて、高山市が表彰されてみえたりしているので、ちょっとお聞きしに行っただんですけど、そこも定数削減の時に第三者のアドバイスを受けてやられたんですけど、自分たちだけじゃなくて、第三者の声を入れると考え方も変わってきたり、入れる言葉も変わってくるということで、すごくこれは必要なんじゃないかなというふうに思いますので、ぜひ皆さんとそういう連携できるところを探してやっていくといいんじゃないかなと思います。</p>
花村委員	<p>今度海津市議会さんと勉強会の案内がありましたけど、そういったかたちで他議会と連携していくということも考えていっていいのではないかなというふうに思います。</p>
安井委員	<p>海津市さんと、そしてまた南越前の方ともいろいろやりながらやってきたというので、いろいろなことの勉強になるということを思います。高山に関しては、こういうタブレットを使うといいよという一つのきっかけにもなったん</p>

花村委員	<p>じゃないかなと思っていますので、いいことだと思います。</p> <p>可児市さんもけっこう、どこかわからないけど、長く連携していろいろ画期的な改革を進めてみえるので、そういった議会も参考にしながら進めていったらいいかなというふうに思います。</p>
野口委員長	<p>私の個人的な考えですけど、県内で一番議会改革が進んでいるのは可児市議会だと思っていますので、事例をもう少し集めながら団体、大学、他議会も含めて連携をしていく方向性で、先進事例等々も集めていただきたいと思っていますのでよろしく願いいたします。これは引き続き前向きに協議していくということでよろしく願いいたします。</p> <p>最後になりますが、タブレット端末の実証利用の振り返りについて協議をいたします。お手元には振り返りシートをお配りしております。委員会においてこれを取りまとめていきたいと思っています。12月議会で皆さん使われたと思いますけど、現時点でご意見等々ございますか。これは全員に配りますか。</p>
議会総務課課長 補佐	<p>3月議会で議会改革の中間報告をおそらくしていただくというところのスケジュール感の中で、全員にまでお聞きできる時間がないとなれば、この委員会だけで取りまとめて、報告としていただくということもひとつ考え方としてはあり得るのではないかと考えています。</p>
安井委員	<p>使う意欲はあったんですけど、画面を触っていて、途中でそこから行かなくなったりとか、これを見たいのにどこを操作すればいいのかというところの疑問もあって、もういいやとペーパーの方を見てしまうというところがあるので、その辺をもうちょっとクリアできるような、一生懸命やっていただくんですけど、追いつけるようなレクチャーをお願いしたいです。今もいただいて見てみたんですけど、12月議会のところまでは見たんですけど、その先のはちょっと次何があるのだろうで、止まってしまっていて画面変えてしまいましたけど、あと、表示もたくさんあるので。</p>
野口委員長	<p>導入されるのは改選後ですよ。振り返りシートのことです。</p>
糟谷委員	<p>この振り返りシートですけど、議会改革のメンバーだけ</p>

野口委員長	<p>じゃなくて、タブレットに詳しい方もこの委員会以外にみえるので、皆さんから聞いた方がいいと思います。</p> <p>私も思います。川柳議員とかけっこう熱心に使ってみえて、これどうやって使うのか私に聞いてこられたので、そういった委員以外の方みえますので、事務局大変かもしれませんが、全員に聞くということによろしいですか。</p> <p>(異議なし)</p>
野口委員長	<p>議長さん何かありますか。</p> <p>(発言なし)</p>
議会総務課課長 補佐	<p>一つだけお願いしたいのが、設問をこのまま聞いていいかどうか、そういう部分がもしありましたらその辺を見ていただけるとありがたいです。</p>
糟谷委員	<p>見させていただいてはいますが、詳しい設問になっていますし、例も書いてあるのでこれでいいと思います。</p>
野口委員長	<p>皆さんよろしいですか。</p> <p>(異議なし)</p>
野口委員長	<p>この振り返りシートで問題ありませんので、全議員に意見が聞けるようにお願いいたします。</p> <p>次回、38回目について開催日程を調整したいと思います。本日の協議内容を踏まえ、3月定例会での中間報告を見据え、2月中のどこかで開催したいと考えますがいかがでしょうか。</p> <p>次回は2月15日10時からこの場所で、皆さんには改めて通知をさせていただきます。</p> <p>これで本日の議会改革特別委員会を終了いたします。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">【閉会=午前10時45分】</p>